



CSR※（企業の社会的責任）ビジョン

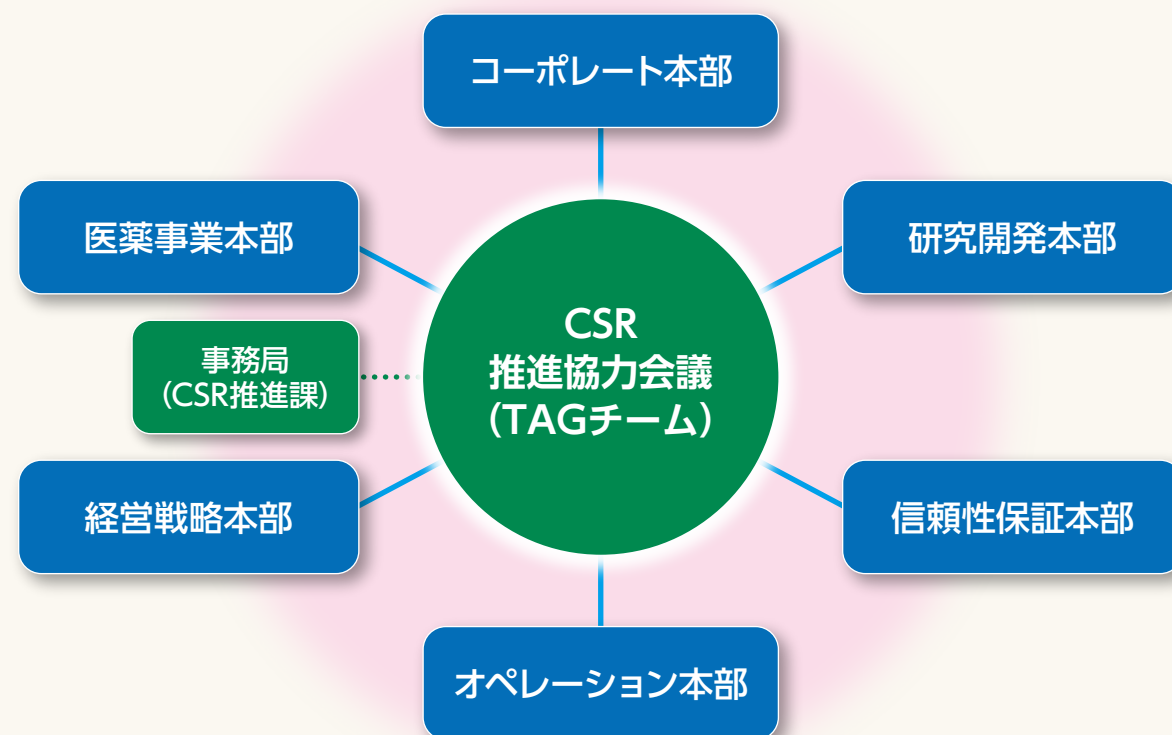
私たち高田製薬は、飲みやすく 使いやすい くすりを提供することで、
患者さんや医療関係者に貢献するとともに、
企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、
すべての人々に信頼される企業を目指します。

※CSR：Corporate Social Responsibility

経営理念の実現を通じて、企業価値の向上とサステナブルな社会への貢献を目指してまいります。

高田製薬では 2019 年 10 月に CSR 推進課を設置しました。そして、社会や環境に対し責任を持った事業活動に取り組む中で、高田製薬の全員がさらなる力を発揮できるよう、翌年 10 月より各本部からの協力メンバーと共に、CSR 推進体制（以下「高田製薬 CSR 推進体制」を参照）を構築しました。この CSR 推進協力メンバーを『TAG（タッグ：引き継ぐ、協力して事にあたるという意味が込められています）』と名付け、CSR ビジョンの実現に向けて活動しております。

高田製薬CSR推進体制



CSR推進協力会議（TAGミーティング）の活動

月 1 回以上の頻度で各拠点を Web 会議ツールで繋ぎ、TAG ミーティングを開催しております。



TAGチームの活動記録

左記「CSR ビジョン」は高田製薬らしいビジョンになるよう意識して策定しました。次に手掛けたのは、TAG チームで取り組むテーマ決めです。当社とステークホルダーが Win-Win となるようにアイデアを出し合いました。現在の取り組みテーマは以下の通りとなっています。



各取り組みテーマとその概要

おくすり教室

- 工場見学風動画、薬を飲む時間に関するお話の動画を公開
- 小学校に訪問しておくすり教室を開催し、薬についての正しい知識を身に付けてもらう

寄付活動

- 寄付型自動販売機を設置し、その売り上げの一部を、子どもに関する支援団体へ寄付する

障害者支援

- 障害者アートの利活用
- 支援団体が必要としている物資を集め寄贈する

地域貢献・交流

- フードドライブの開催
- 各事業所周辺の催しへの協力

第4期TAGチームスタート

2020年10月のキックオフから3年が経過し、2023年10月から第4期が始まりました。

【今までの取り組み内容】

- ◆ **おくすり教室**
4本の動画を作成
「高田製薬株式会社YouTubeチャンネル」を開設
「南区ふれあいフェア」ブース出展
- ◆ **寄付型自動販売機**
寄付型自動販売機売上の一部を寄付（2回）
- ◆ **障害者支援（寄贈）**
障害者アートの利活用（本CSR報告書表紙にて）
社員の皆さんからシール、折り紙を集め寄贈（2回）
- ◆ **地域貢献、交流**
フードドライブ開催（2回）

※詳細については持続可能な社会への貢献(P26)をご覧ください。



第4期メンバー集合写真

フードドライブ開催

フードドライブとは家庭で使いきれない未使用品や、余っている食品を集めて寄付をする活動です。当時、当社のフードドライブに対しての認知度が高くなかったことから、「子ども食堂」や「フードドライブ」を主催しているさいたま市子ども食堂ネットワーク様にセミナーを開催していただきました。

そして8月21日～8月24日の4日間、各拠点に回収BOXを設置しフードドライブ活動を実施しました。集められた食品、生活雑貨は、(社)埼玉県子ども食堂ネットワーク、(社)さいたま市子ども食堂ネットワークへ寄贈し、そこから主に大宮区：楽しく食育クラブ、南区：だがしカフェ夢はうす、加須市：すくすくひろば、幸手市：あやめ笑顔食堂へ配布されました。



『もったいない』を『ありがとう』へ
子ども食堂へ食品を寄贈する**フードドライブ**活動にご協力ください

提供可能なもの

インスタント食品 レトルト食品 缶詰 調味料 お米 お菓子
乾麺 ペットボトル飲料 常温保存できるもの
生活用品(トイレットペーパー・ティッシュ・消毒液・マスク・筆記用具・文房具) など
※全て未開封 未使用のもの 賞味期限1か月以上

提供不可能なもの

アルコール飲料 生鮮食品 要冷凍食品 要冷蔵食品
大袋に入っている個包装食品(柿の種やお餅などの大袋中の個包装は、提供できません。インスタントの袋種など、お店で個々に販売されているものは、大袋に入っているものでも提供できます)

CSR・SDGsに関する啓蒙

CSR info.の発行

全従業員がCSRやSDGsへの理解を深められるよう、「CSR info.」という情報紙をイントラネットや各事業所掲示板に定期的に掲載しております。当社の取り組み内容だけでなく、世相にあわせ、CSRやSDGsに関する情報を発信する取り組みを行っています。

CSRセミナーの開催

近年取引先からのCSRやサステナビリティに関するアンケートが増えてきています。サプライヤーと良好な関係を築くためにもCSRやサステナビリティについて理解を深めることが重要と考え、今年3月より「CSRセミナー」を開催しています。当社CSRアドバイザーが講師となり、CSR・サステナビリティに関する基礎的な情報、持続可能な調達に係る事項、環境への取り組みや人権尊重をテーマとして、今年度は4回の開催を予定しています。すべてのセミナーは録画した動画を用いたeラーニングシステムにて開催し、従業員がいつでも受講できるような環境となっております。

CSRセミナー開催予定テーマ

第1回	CSRとサステナビリティ
第2回	持続可能な調達方針・調達報告
第3回	環境
第4回	人権尊重



洗濯洗剤、タオルなど生活用品が中心に集まりました。未使用ではありませんが、クリーニング済みの毛布が提供可能との事でしたので、次の提供を考えています。

大宮工場

本社



文房具から乾麺、飲料水と幅広く集まり、お中元のお菓子も加わって、子供たちが好きそうなものが揃いました。取りに来てくださった子ども食堂の方もとても喜んでくださいました。また、この様な物価高の中でご協力いただきありがたいととても感謝していただきました。

食品ロス削減や節約を意識し、必要な分だけ購入しているご家庭も増えている中、余っているものの寄付を呼び掛けるフードドライブの開催には懸念もありましたが、多くの従業員が協力してくれました。このような活動を継続していけるように、CSR info. や社内報を通じて、社内への情報発信にも力を入れていきます。

SDGsへの貢献

2023年7月31日に埼玉県より「埼玉県SDGsパートナー」として登録されました。埼玉県SDGsパートナー登録制度とは、SDGsに自ら取り組むとともに、その実施内容を公表する県内企業・団体等を県が登録する制度です。本制度は、申請様式を活用し、県内企業等が自ら行う活動とSDGsとの関連性を明確にすることで、県内企業等のSDGs達成に向けた具体的な取り組みを促進すること、また、SDGsの具体的な取り組みにより、企業等の価値向上及び競争力の強化を図るとともに、県が進める「埼玉県版SDGs」を共に推進することを目的としています。

私たち高田製薬は、以下に掲載した取り組み方針のもと、埼玉県SDGsパートナーとして、SDGsの達成に一層力を入れてまいります。



SDGs達成に向けた高田製薬の取組方針

当社は「飲みやすく 使いやすい くすり」を提供することで、患者さんや医療関係者に貢献するとともに、企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	全事業所・営業所にて発生する温室効果ガス排出量（Scope1、Scope2）について削減を図る。 ＜（現状値）2021年の数値＞ 温室効果ガス排出量：14,324t-CO ₂ /年 （Scope1、Scope2 合算）	＜2030年に向けた指標＞
		8,308t-CO ₂ /年（2021年比 42%削減）
		＜取組開始3年後に向けた指標＞
社会	従業員の年次有給休暇取得率向上を図るとともに、社会貢献活動の一環として寄贈活動を積極的に実施する。 ＜（現状値）2022年数値＞ ①有給休暇平均取得率：73.6%（取得日数/付与日数） ②寄贈活動：0団体（現状は実施なし）	11,660t-CO ₂ /年（2021年比 18.6%削減）
		＜2030年に向けた指標＞
		①80%以上の維持 ②3団体（5回/年）
経済	環境に配慮した原材料を用いた製品を開発する ＜（現状値）2022年の数値＞ 製品化件数：0件（累計）	＜取組開始3年後に向けた指標＞
		①80% ②2団体（3回/年）
		＜2030年に向けた指標＞
		2件（累計）
		＜取組開始3年後に向けた指標＞
		1件（累計）

■ 関連リンク【埼玉県SDGsパートナー】

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/sdgs_partner.html